

明けまして  
 おめでとう  
 ございます

みなさんお久しぶりです。本の貸出しが再開しましたよ～！2019年の目標は立てましたか？充実した1年を送れるように楽しく頑張りましょう！今年もマナーを守って、楽しく図書館を利用しましょう♪



じゅうにし 十二支(じゅうにし)について

十二支(じゅうにし)は、むかし中国(ちゆうごく)でうまれました。木星(もくせい)が、十二年(じゅうにねん)で天(てん)を一周(いっしゅう)することから、木星(もくせい)の位置(いち)をしめすために、天(てん)を十二分(じゅうにぶん)したものだそうです。

十二支(じゅうにし) = 子(し)・丑(ちゆう)・寅(いん)・卯(ぼう)・辰(しん)・巳(し)・午(ご)・未(び)・申(しん)・酉(ゆう)・戌(じゆう)・亥(がい)

つまり木星(もくせい)が「子(し)」にある年(とし)が、「子(し)年(とし)」です。この「子(し)」という字(じ)には、もともとはネズミ(いみ)という意味(いみ)はありませんでした。でも、「来年(らいねん)は子(し)年(とし)」というより、「来年(らいねん)はネズミ(いみ)年(とし)」といったほうが、おぼえやすいし、おもしろい？ということで、それぞれの字(じ)に動物(どうぶつ)をあてはめるようになったようです。

十二支(じゅうにし) = 子(し)・丑(ちゆう)・寅(いん)・卯(ぼう)・辰(しん)・巳(し)・午(ご)・未(び)・申(しん)・酉(ゆう)・戌(じゆう)・亥(がい)  
 (子(し)はネズミ、卯(ぼう)はウサギ、巳(し)はヘビ、酉(ゆう)はニワトリ、亥(がい)はイノシシ)

おかげで、十二支(じゅうにし)は、いまも生活(せいかつ)のなか(なか)にのこり、年賀状(ねがじょう)では大活躍(だいかつやく)です。

高谷(たかたに)まちこ『十二支(じゅうにし)のはじまり』より引用(引用)

図書館(としょかん)には十二支(じゅうにし)の本(ほん)がたくさんあります。ぜひ(ぜひ)読みくらべてみてください！



どうして(どうして)十二支(じゅうにし)にネコ(ねこ)年(とし)はないの？

「どうして(どうして)十二支(じゅうにし)にネコ(ねこ)年(とし)はないの？」と神楽(かぐら)しのネコ・マオ(まお)にたずねたエミリ。「じつは、十二支(じゅうにし)を決める(きまめる)競争(きょうそう)があつてね・・・」マオは語り(かたり)はじめます・・・



文章(ぶんしょう)を『かごめかごめ』のメロディー(メロディー)で歌(うた)うことができます。楽しく(たのしく)十二支(じゅうにし)を覚(おぼ)えられますよ！楽譜(がくふ)もついています。



もっと(もっと)知りたい！十二支(じゅうにし)のひみつ

十二支(じゅうにし)にまつわる(まつわる)お話(お話し)やうんちく(うんちく)を解説(かいせつ)した全百科(ぜんひやく)です。写真(しやしん)・イラスト(いらすと)・四コマまんが(よこコマまんが)やダジャレ(だじゃれ)など、盛りだくさん(もりだくさん)！